

# H31年(令和元)年度

## 幼保連携型認定こども園 金城幼稚園・保育園

### 学校評価の取り組み報告～ダイジェスト版～



#### ①今年度の取り組み状況

##### ☆保育者としての資質や能力・適性☆

仕事を効率よく行っている。幼児教育にまつわる情報を日頃から得ようとしている」という項目で評価が低く、課題であることがわかりました。

職員室で仕事をしていても電話対応や緊急時の対応、行事準備などがあり、集中して仕事を出来る時間が少なかったり、行事前の環境整備に時間がかかり保育の記録、活動準備の時間がとれないため、業務時間に仕事が終わなくなってしまいます。それぞれの抱える仕事を精査し、幼児教育、保育について語り合う時間や保育者が専門性を高めるため（研修の参加、参考書を読む、調べる）の時間を確保できるようにとみんなでグループディスカッションを行い、たくさんの改善策が出ました。それぞれの改善策に担当を決め作業を進めて行き、省力化するための決まりを決めました。

#### ●改善策例（全24例）

課題	改善策
①回覧書類が多く、何が急ぎなのかわからない状態で各職員のボックスに入っている	・回覧書類のファイルの色分けして視覚的に分かるようにする →クリアファイルを購入しテプラを貼る(赤:緊急 青:じっくり確認)
②保護者への連絡方法について お子さんの発熱のため迎えを依頼しようとしてもな どすぐに繋がらず何度も電話をかけることがある。	・緊急連絡先①～③をかけて繋がらなかった場合、キッズリーの個別連絡機能を使うことを徹底する。(ただし30分経過しても折り返し連絡がない場合は再度電話連絡を行う)
③事故が発生すると、報告書作成、病院受診などがある。事故を減らしたい！	・各保育者のヒヤリハットへの気付きを高めるためにワーキングを行う
④ブログを書く保育者によって文章量、写真枚数が異なる	・マニュアル化し統一をはかる
⑤誕生表作成の負担が大きい	・写真を使用し、簡略化しながら、分かりやすくしていく
⑥クラスだよりをデータ化することで作業効率をあげたい	・R2年度からパソコンで様式を作っていく その他手紙もキッズリーで知らせられる内容はペーパーレス化し、環境保全、配布ミスなど防いでいく

##### ☆地域の自然や社会との関わり☆

自己点検・自己評価の集計・分析を行った結果、「小学校でのこどもの育ち等についてどのような情報を必要としているか理解しようと努めている」とについて全体的に評価が低いことがわかりました。園での保育が小学校への準備へとつながっていることは理解しているが具体的にどのような育ちを小学校側が求めているのか、必要な

情報は何か分からないという意見が多く出ました。そのため7月の幼保小連携合同研修会にて幼保小の接続期についてグループワークを行いました。小学校の先生たちと一緒に研修会を行うことで幼保小連携について理解が深まりました。



#### <来年度に向けて>

- たくさんの改善策をひとつひとつ実践していく
- ノンコンタクトタイムの定着
- 働き方改革

#### 学校関係者評価委員会の方からのご意見

- ・今まで園として得意としてきた『地域の特性を生かした保育』を今後も続けて行いつつ働き改革を工夫して欲しい。
- ・手紙やおたよりの省力化について、配布物（紙媒体と電子化媒体）の分けをしっかりとすれば良いと思う。
- ・園の整備について、PTAとしても相談してもらえれば協力したい。日程については検討が必要。
- ・園が目前の子どもたちにどのように教育を実現していくかについて常に考えて取り組んでいることがよく分かった。小学校でも見習いたい。職員みんなが同じベクトルで、周知して取り組む姿が素晴らしい。
- ・夏に小学校教員と一緒に取り組んでいる幼保小連携研修会は続けていきたい。
- ・さくら組の劇では、子ども達一人ひとりがイキイキとした様子だった。あのステージに立ってイキイキと表現する姿が素晴らしい。中には苦手な子もいると思うが、保育者がサポートしたり子ども同士で教え合ったりする姿がよく見えた。普段の生活の積み重ねと感じた。
- ・少子化と言われる現代。子どもは宝である。地域総がかりで子どもを育てることが必要。小学校も中学校も一体になっていくべき。
- ・先生が子ども達と向き合う時間を作るために、保護者も協力するという姿勢が素晴らしい。(園の整備お手伝いなど)
- ・働き方改革は、“保育の充実のため”“子ども達と向き合うため”が目的。先生がイキイキと子ども達といられることが大切。先生が輝ける職場づくりにして欲しい。
- ・年長児の姿を見て、落ち着いて自覚を持って取り組んでいた。当園の学校評価は10年以上の取り組みであるが、いよいよ充実している。先生方が資質を高めることが子どもの成長に繋がることが大切。
- ・ノンコンタクトタイム…子どものために集中して仕事に取り組むことも大切。また、職員間で他職員が今どんな仕事を行っているか分かることも必要。お互いを見合うということもできる。
- ・働き方改革は何が必要で何を削るか、精査しなくてはならずとても時間のかかること。保育の何を大切に  
するか十分検討し、実行する事が重要。子どもを育てるために“手をかけること”は欠かせない。